



梅雨の晴れ間に、子どもたちが心待ちにしていたプール遊びがスタートしました。夏の熱中症アラートが出る前に思う存分に水や泥などの感触遊びを楽しみたいと思い早めの準備をしました。

子どもたちは登園すると「今日は、プールある?」「プールに入れるかな?」と水遊びを楽しみにしている気持ちが伝わってきます。一緒に登園しているお家の方は、プール表を見て子どもたちに説明をしてくださっています。少しずつ自分でプール表示やプールに水がたまっているかを確認する子どもが増えてきました。安全に遊べるように環境を整えながら夏ならではの遊びを楽しんでいきたいと思います。

また、朝の登園時には、うれしいエピソードが伝わってきます。「昨日の夜、初めてトイレに行けて成功しました!」と笑顔で伝えてもらいました。ひとつひとつ着実に成功体験を積み重ねていっている過程を受け止めてもらっている様子を見てうれしく思いました。ゆっくりでいいのでこのような体験を重ねていきたいですね。

自分の思いをいろいろな方法で伝える経験を大切にする

～心が揺れ動く体験をつくる中でつながりあう～

日頃から自分の思いを言葉で表すことが苦手なAちゃんがありました。その日のお帰りの時に、親子で私のところへ来ました。「Aちゃん、どうしても伝えたいことがあるんだよね?」とお家の方が促してくださいました。Aちゃんは恥ずかしそうにしていました。私は、自分の思いが伝えられるかなと思いましたが、少し待ってみることにしました。しばらくするとAちゃんは一言だけ発言しました。「食べたい!」と伝えました。「もしかして、あいママのお料理のこと?」と返事をするとうん。」とAちゃんはずききました。「分かったよ。じゃ明日、お料理するからみんなで食べようね。」と伝えると笑顔で帰っていきました。

このように、身近な大人が子どもの姿に寄り添いながら、気持ちを整理してその思いを言葉にして伝えられるように後押しをされた場面でした。きっとAちゃんにとっては勇気がいることだったと思います。勇気を出して思いを伝える姿に答えたいと思いその翌日にAちゃんのクラスにお料理を届けました。



【親子で仕上げた手紙】



何日か経過して、Aちゃんとお家の人から手紙が届けられました。手紙を描く工程にもそっと寄り添われています。とても素敵なかかわりだと感じました。

栽培・収穫・調理・配膳から下膳まで「ももっこ食育活動」

～心躍る共通の体験から心地よくつながりあう～

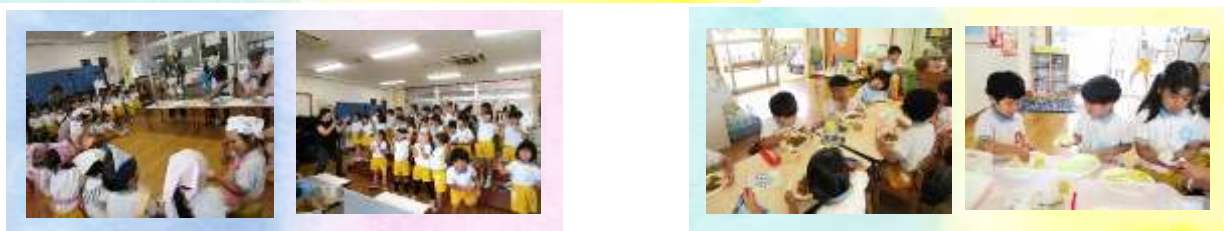
今月は、子どもたちが栽培したジャガイモやタマネギを収穫しました。ももっこオリジナルのカレーパーティーへ向けて活動してきました。

年長組は、あいママからおつかいを頼まれました。使命感に燃えて、ニンジンを買に行きました。地域の方々にあたたかく見守られて買い物大作戦は成功しました。

カレーづくりでは、調理体験をしました。年長組が調理をする様子を他学年は見学にきました。「すご～い！」「もうお腹すいてきた。」など様々なつぶやきがありました。



あいママシェフと一緒に調理体験を楽しみました。調理道具の名前・扱い方・野菜の切り方を学び実践しました。



カレーパーティー当日は、みんなで盛り上がりました。自分たちの切った野菜がたくさん入った大きな鍋を見て大興奮！「お腹がへってぺこぺこ。」「ぐつぐつ聞こえる。」「いい匂い！」「お鍋の中の色が変わった！」といろいろな感覚をつかって楽しみました。異年齢で楽しくカレーを喫食した後は、カレー皿をきれいに拭いて食器を片付けました。

～あいママレストランでは、旬のものを食べることを大切にしています～

園内で栽培した野菜などは、太陽の光をたっぷりと浴びています。野菜が元気に育つ時期は栄養価が上がります。また、季節に応じた成分が詰まっているため、旬のものを食べるのが大事だと思います。

また、子どもたちが自分で栽培することで愛着がわき、最後まで喜びと責任をもって活動することができます。その生長過程を身近に感じることで、心が動く体験のひとつになります。

集団生活の中で、仲間と喜びあう共通の体験をすることが心地よくつながりあうことにも繋がっています。その過程を経て、1人1人の自信や自発性につながっていくことを目指している大切な取り組みのひとつです。

～6月あさがおイラスト～
そっと友だちに寄り添える
しょうのすけさん



文責 まつなが あい